



資料館だより

No.29
2010年
3月号

過去と未来がひびきあう

—ようこそ、エコミューズへ。

www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら
財団付属

西淀川・公害と環境資料館

エコミューズ

環境省「環境問題史現地研修」受入 (2/9~10) 1泊2日で講義と現地見学じっくりと



リパティおおさかの西淀川
公害の展示の前で

毎年、環境省の職員研修を受け入れていますが、これまでは半日の研修だったので現地を見てもらうことが困難でした。今年は、1泊2日の日程で、講義と

現地見学をバランスよく組

み合わせたプログラムの提供に努めました。(総勢10名参加)

おもなプログラム

■1日目(2/9)

- ・西淀川公害の概要と公害患者からの話
- ・フィールドワーク
＜車組＞千北診療所、尼崎工場群、43号線
＜自転車組＞淀川、西淀川の街中

■2日目(2/10)

- ・リパティおおさか(大阪人権博物館)見学
- ・車中から大阪湾岸部を確認
- ・デイサービス施設「あおぞら苑」で昼食・お話
- ・西淀川高校で環境教育のお話
- ・フィールドワークまとめ・発表

参加者の感想には、「ロードプライシングの計算を仕事でもしていたが、実際に現場を見れて良かった。西淀川に流入する車に課金しては？」「みなさんが前向きで、お金がなくても智慧を出そうという姿勢に感動した」などがありました。

研修の受入れ側としては、「西淀川では地域再生に取り組む前向きで明るい人たちと触れ合える」ということが財産なのだと思いました。

[各地のニュース]

イタイイタイ病 富山県立の資料館設置へ

昨年の夏、あおぞら財団では「公害地域の今を伝えるスタディツアー」を開催し、イタイイタイ病の被害やその後の再生活動を学ぼうと富山を訪れました。被害者団体の方々が希望されていたイタイイタイ病に関する県立の資料館設置が平成23年度をめどにいよいよ実現されるようです。小さいながらもエコミューズも同じく「公害の経験を伝える資料館」として、連携していけたらと思います。

ただいま エコミューズの要は資料整理。
資料整理中 現場から生の声をお届けします。

よみがえった映像 「大阪から公害をなくす会資料」のビデオ

大阪から公害をなくす会からダンボール16箱の資料を受け入れたことを前号で紹介しました。「資料」と言っても、紙の資料ばかりではなく、映像資料もあります。



当時のニュース映像の一場面

中にビデオテープが数本、あったのですが、古くなって、テープにカビが生えているものがありました。これは大変と、すぐにDVDに映像を焼き直したところ、録画されていたのは、公害指定地域が解除される時(1988(昭和63)年)の報道番組などであることがわかりました。20年以上前の映像が、こうしてよみがえりました。

例えば、こんな内容です。

- ・公健法改正に伴う報道映像(67分)
- ・カネミ油症訴訟報道映像(31分)
- ・尼崎公害裁判1.31判決日行動記録(76分)
- ・NNNDキュメント'87 水俣病三次訴訟判決を前に(24分)
- ・第19回全国公害被害者総行動デー(120分)
- ・「尼崎公害」11/19関西電力本店前大行動(75分)

■DVDへのダビング、目録作成をおこなった

浅井真二さんのコメント

「1980年代後半からの貴重な映像が多くありました。全部で15巻にまとめられました。一部、テープの汚れ・カビ等で映像の乱れもありますが、貴重な映像記録だと思いますので、活用していただければと思います」

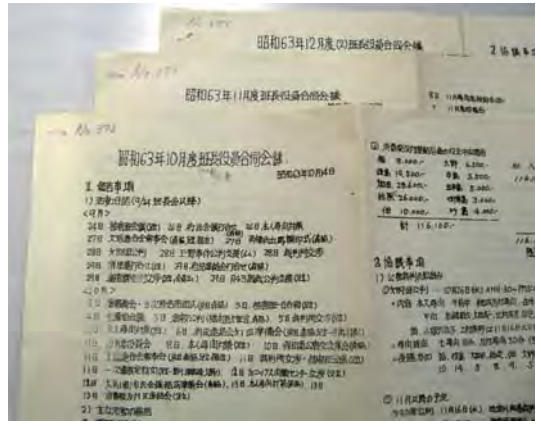
もりもとまきの アーキビストの目 ★★★所蔵資料紹介★★★



みんなで決めて、みんなで闘う
—「西淀川公害患者と家族の会」
班長役員会議—

「西淀川公害患者と家族の会」は、毎月欠かさず「班長役員会議」を開いていました。エコミューズでは、その会議で毎回配布された議事進行レジュメを多数所蔵しています。今回はそのなかから、'88(昭和63)年10月14日の会議のようすを見てみましょう(「昭和63年10月度班長役員合同会議」岡崎久女氏資料No.372)。

会議には役員と各支部の班長43名が出席し、まず事務局から、レジュメに掲載された「活動日誌」をもとに、前月の会議以降の出来事が、ひとつずつ報告されます。そして討議に移り、翌月26日に開かれる西淀川公害裁判第89回公判について、「一人でも多くの原告の傍聴参加をお願いし、支部別の参加割当をやりきることを確認」しました(同会機関紙『青空』No.90)。原告や患者に、裁判の傍聴を積極的に呼びかけることは、班長の大切な役目でした。このレジュメにある「福10、姫島14、大和田5…」は、各支部の目標参加人数です。



毎回欠かさず作られ、配られたレジュメ

会議は、出席者が過半数に達しなければ中止されました。そして互いに声をかけ合い、必ず過半数以上が出席して開催し直したそうです。「みんなで決めて、みんなで闘う」という姿勢が貫かれた運動のようすを伝える資料です。

ブログ版 <http://aozorabsw.exblog.jp/i11/>

アーキビストとは、文書や資料の収集・整理・保存に関わる専門家のことです。



こんにちは新着図書です

松岡資明『日本の公文書 —開かれたアーカイブズが社会システムを支える—』ポット出版、2010年



2011年4月より施行される公文書管理法。本書ではこの法律の成立の経緯から今後の課題について詳しく解説されています。「公文書」といえば、あまり身近なものに感じられませんが、世間を騒がした社会保険庁の年金記録問題などはまさに「公文書」の管理がしっかりできていなかった結果として起こったのです。こうした「公文書」の管理を徹底し、廃棄せずに公文書館に保存することが、この法律の目的です。諸外国と比べても日本の行政文書の取り扱いはずさんと言われており、この法律によって今後は行政文書を国民の共有財産として管理し、公開していくことが期待されています。

残された過去の記録資料は「公文書」だけではありません。過去の記録資料は、人々の人生の記録として各地で保存されており、公害裁判資料を保存するエコミューズの活動も、その一つの例として本書で紹介されています。保存しなければいずれ失われてしまう記録資料をいかにして後世にまで残すか、本書ではその方法と課題について知ることができます。

田尻悠太(資料整理スタッフ)

編集後記

3月。年度末ですね。1年間の仕事のまとめで、各事業で報告書づくりが山場にさしかかっております。昨年夏に実施した富山への「公害地域の今を伝えるスタディツアー」の報告書とホームページサイトは、もうそろそろ出来上がりです。2年目となる今年の夏は、新潟(水俣病)に訪問する予定。暑い夏になりそうですね。(Y)

資料館だより No.29
2010年3月号(隔月1日発行)
発行所 あおぞら財団付属
西淀川・公害と環境資料館
(エコミューズ)
連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル5F(〒555-0013)
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
<http://www.aozora.or.jp/shiryou/>

お知らせ
エコミューズ活動資金
【ハモン基金】
寄付協力をお願い
エコミューズを支えてください。あなたの寄付金は青空へとつながります。
●寄付の方法
郵便局からお振込いただけます。また、直接エコミューズにお越しいただいても結構です。
【一口】十万円／一万円／千円
【口座番号】
00960191
124893
【加入者名】あおぞら財団 ※通信欄に「ハモン基金」の寄付とご記入ください。一口の金額はお選びください。
ボランティア隊
「エコミューズ」募集
あなたもエコミューズ★に入っちゃおう！資料整理や展示、イベントの手伝いなど、活躍の場がいっぱいです。交通費●実費支給(上限2000円)
どうぞお気軽にお問い合わせください。



■ボランティアさん緊急募集!!!
新しい文書箱へ資料の詰め替えをします。資料を永く保存するには、中性紙でできた保存専用の文書箱に入れておく必要があります。資料に触れる機会です。お待ちしております。



エコミューズは
青空を未来へ手渡す記録のひろば
西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください
開館●月曜日、金曜日(祝日は休み)
10:00AM~5:00PM [要予約]
利用●図書の貸し出し期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ